

# 所 報

(2008. 11. 1～ 11.30)

□人事 (11月1日付)

臨時職員 塚本 智子  
中村 美香

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』601号 (2008年12月)  
『大原社会問題研究所雑誌』602号 (2008年12月)  
『高齢者の在宅ケア—歩を進めるために—高齢者介護の基本とケアマネジャーの視点— (加齢過程における福祉研究会記録その13)』(ワーキング・ペーパーNo.30)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	62	16	78
受 贈	35	0	35
合 計	97	16	113

□閲覧サービス

開館日数 24日  
閲覧人員 28名  
貸出図書 50冊  
コピーサービス  
学外 15件 2124枚  
学内 7件 305枚

日 誌

- 4日 事務会議  
6日 来所：シャンテ・タンバヤ(SHANTHI THAMBIAH) 准教授 (マレーシア・MALAYA大学)  
10日 来所：Lee Yoonyung 助教授 (State University of New York, Binghamton University)  
12日 運営委員会  
議題①運営委員の任期と改選について ②副所長の改選について ③名誉教授の審査について ④嘱託研究員の承認について ⑤研究所指定寄付金の募集について ⑥08年度総会について ⑦その他  
14日 OISR.ORGに西田勝反核資料インデックス公開  
19日 『日本労働年鑑』編集会議

- 22日 加齢過程における福祉研究会  
テーマ：「認知症の人のケア，グループホームでのケアについて考える」  
講師：和田行男氏 (株大起エンゼルヘルプ)  
第40回現代労使関係・労働組合研究会  
「アメリカにおける病院経営の『合理化』と派遣看護師の労働問題」(早川佐知子氏)，  
「日本における仕事基準賃金に関する調査研究」(鬼丸明子氏)  
24日 国際交流講演会 マイケル・ブラウォイ教授を囲む特別セミナー  
テーマ：「市場万能の時代における労働研究の可能性」  
講師：マイケル・ブラウォイ教授 (カリフォルニア大学バークレイ校)  
於：明治大学駿河台キャンパス  
主催団体：日本労働社会学会・一橋大学大学院社会学研究科フェアレイバー研究教育センター・大原社会問題研究所・明治大学労働教育メディア研究センター  
25日 事務会議  
研究所アーカイブ評価調査のため三菱総合研究所調査員来所  
26日 研究員会議  
月例研究会  
テーマ：「東アジア地域におけるエネルギー資源・電気事業・再生エネルギーに関する考察」  
報告者：大平佳男  
27日 戦後社会運動史研究会  
テーマ：「農地改革の位置付けをめぐって」  
報告者：横関至

編集長交代します

本誌編集長は、これまで早川征一郎が担当していましたが、2009年3月、定年退職のため、この3月号をもって辞任します。代わって、2009年4月号より、鈴木玲専任研究員が新編集長に就任します。長年のご支援・ご指導を感謝し、かつ今後とも変わらぬご厚情をお願い申し上げます(早川記)。

大原社会問題研究所雑誌 No.605 (2009年3月号)  
2009年3月25日発行  
定価1,000円(本体952円)，年間購読料12,000円  
編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所  
編集長 早川征一郎  
所 長 五十嵐 仁  
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342  
電話 042 (783) 2307